

令和5年度広島の拠点性強化に向けた懇話会ワーキンググループ会議 開催記録

1 開催日時

令和5年10月10日（火）14:00～16:00

2 開催場所

広島市役所 本庁舎14階 第7会議室

3 出席委員（順不同・敬称略）

宮地 宏	中国経済連合会常務理事
植野 実智成	広島商工会議所専務理事
村上 英之	広島経済同友会常任幹事
中野 博之	広島県経営者協会専務理事
多田 稔	広島大学地域連携部長（津賀一弘理事・副学長の代理出席）
竹井 光子	広島修道大学副学長
牧野 尚文	㈱広島銀行公務営業室長
広中 正紀	㈱もみじ銀行営業統括部長
松尾 康史	㈱日本政策投資銀行中国支店支店長
斉藤 卓也	㈱日本政策金融公庫広島支店支店長
福田 由美子	広島工業大学教授
阪谷 幸春	広島市企画総務局長

4 議事内容

- ・ 第2期「世界に誇れる『まち』広島」創生総合戦略の取組状況
- ・ 第2期広島広域都市圏発展ビジョンの取組状況
- ・ 広島の拠点性強化に向けて（地域経済の持続的な成長を支える産業人材の確保・育成について）

5 主な意見等

- ・ 弾力的な働き方に興味を示す学生はいると思うので、社会全体で副業を可能にするような機運を醸成する流れを作っていく必要がある。
- ・ 複業を導入するとすれば、まずは限られたマーケットの中で小規模に始め、ヒントを得ながら育てていけば、広島モデルが作れるのではないか。
- ・ 宿泊や観光施設の予約状況などのデータを同業者間で共有し、無用な価格競争を防ぐといった取組事例もあり、競争しながらも一定の範囲で協調することは可能だと考えている。
- ・ 人材に関しては、シニアの活用が有益であり、例えば、他の企業に副業として従事する者の推薦制度を設けて、その受入れを望む会社に人を送り出すのが有効だと思う。

- 複業を進める上では、労務管理や社内、顧客の情報管理に留意する必要がある。
- 副業を認めることは良い取組ではあるが、中小企業はほぼ全ての業種が人手不足のため、それを認める余裕がないことや、優秀な人材にそれを認めると、副業先に転職してしまうのではという懸念があるため、難しいのではないか。